



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(6月)

13日(月) 理事会(No. 1172)

27日(月) 理事会(No. 1173)

(7月)

11日(月) 理事会(No. 1174)

25日(月) 理事会(No. 1175)



総会議事終了後に2021年度の営業報告および技術報告を以下のとおり行いました。

【営業報告】

2021年度の活動につきましては、理事長方針である四つの課題、①適正価格の獲得、②安定供給の確保、③戻りコン・残コン、出荷キャンセルの削減、④構造改善の推進、に則りユーザーとの相互理解の形成、登録販売店との信頼関係の構築、組合員の団結強化を基本姿勢として活動を展開して参りました。

1. 販売形態と債権保全について

2021年10月に開始した登録販売店制度は20年になります。2021年度も順調に売上代金を回収しました。

(1) 登録販売店数

21年度の契約更新にあたり、販売店との現状認識の共有が不可欠との認識から、全登録販売店32社との意見交換を実施し、31社と契約を更新しました。

(2) 21年度末債権保全状況(22年3月末)

債権額 4,464百万円に対し銀行保証と

3年ぶり集合形式で第46回通常総会開催

第46回通常総会が5月23日に開催されました。最近2年間は感染症対策として組合員の参加は制限されていましたが、本年は都内ホテルの会議室にて集合開催と致しました。

斎藤理事長が冒頭の挨拶で、次の通り当協組の喫緊の課題を述べました。「今年の出荷は順調な滑り出しですが、セメント・骨材等の原材料価格の高騰を受けて、本年1月に打ち出した3000円/㎡の値上げの達成に向けて邁進していくことになります。その前段としてとてつもない数量の契残を抱えており、駆け込み物件の精査や、旧契アップに取り組んでおりますが、契約の在り方の見直しも視野に入れる必要があります。素早く価格転嫁できる方法について全生連や議員連盟などにも働きかけ、関係省庁の力を借りたりしながら進めていきたいと思えます。組合員の皆様には取引先から色々なアプローチがあるかもしれませんが、協組を取り巻く環境を理解し、是非強い意志を持って本年度の協組方針達成に向けて力を貸していただきたいと思えます。」

その後、議事に移り、議長には常任理事の鈴木孝行氏が選任され、まず、2021年度の事業報告並びに決算関係書類、2022年度の事業計画並びに収支予算など第1号～第6号議案計6件の議案が審議され、全件原案通り承認されました。

次に、3名の理事辞任により、第7号議案として補充選任の件が審議されました。指名推薦方式により選考委員が3名の理事候補を推薦し、総会にて承認されました。

相殺契約を合わせた保証額は6,195百万円となっており、債権保全率は139%と十分な水準を確保しました。

2. 販売数量等について

(1) 2021年度出荷実績

出荷量は全国ベースで前年比97.3%となる7,610万㎡となり、過去最低を更新しました。当協組は、オリ・パラ開催の大きな影響は受けなかったものの新型コロナウイルスにより本格出荷には至りませんでした。しかし、大型再開発物件の再開もあり前年比113.6%の261万㎡まで回復しました。

	出荷数量	前年比
大型	2,252千㎡	114.2%
小型	357千㎡	109.8%
合計	2,609千㎡	113.6%

(2) 2021年度末(22年3月末)契約残

22年度末契約残は、前年比168.5%の616万㎡となりました。そのうち、20年4月から値上げのJ物件は74%を占め

(鈴木議長)



【総会付議議案】

第1号議案

2021年度事業報告並びに決算関係書類承認の件

第2号議案

2022年度事業計画並びに収支予算決定の件

第3号議案

2022年度経費の賦課金並びに徴収方法決定の件

第4号議案

2022年度受注量割賦課金・特別受注量割賦課金に対する最高限度額決定の件

第5号議案

役員報酬最高限度額決定の件

第6号議案

借入金残高の最高限度額決定の件

第7号議案

理事3名辞任に伴う補充選任の件

【理事交代】

(敬称略)

・辞任

浅見 賢志 三多摩アサノコンクリート(株)
森田 和夫 日本強力コンクリート工業(株)
諸角 富美男 城北小野田レミコン(株)

・就任

要 秀和 東京コンクリート(株)
酒井 勝弘 日本強力コンクリート工業(株)
松原 浩明 神奈川秩父レミコン(株)

ました。

(3) 2022年度の販売数量予想

22年度の全国需要は、前年比96.6%となる7,350万㎡を想定しています。当協組は、大型再開発工事等の進捗状況等を踏まえ、300万㎡(上期144万㎡、下期156万㎡)を計画しています。

	2022年度予想	予想/前年比
大型	2,650千㎡	117.7%
小型	350千㎡	98.0%
合計	3,000千㎡	115.0%

3. 価格について

(1) 積算関係

建設物価及び経済両調査会を月1回以上往訪し、表示価格の改定を要請し、以下のとおり反映されました。

	改定内容
建設物価	14,500円⇒14,800円(22/2月)
算資資料	14,400円⇒14,700円(22/2月)
日経新聞	15,400～600円 ⇒15,700～900円(21/12月)

私の社歴紹介 (中国にも赴任しました!)

藤嶽 暢成



この度、当協組の理事に就任いたしました関東支部コンクリート工業の藤嶽です。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和39年8月生まれ、辰年獅子座で血液型はO型です。生まれは福岡県行橋市というところでこれと言った有名人を輩出するわけもなく、北九州市のベッドタウンに位置付けられるのかな田舎町で育ちました。

昭和63年4月に宇部興産に入社、経理を数年経験したのち東京へ転勤となり、以来営業管理畑を長く歩んでまいりましたが、平成17年から6年間、中国の南通というところに生コン工場を設立・運営するため赴任いたしました。何もない原野に1から生コン工場を建設するわけですが、あえて中国企業との合弁を選ばずに独資企業として、設立申請から自分たちだけで行いましたのでいろいろ勉強しながらやった記憶があります。ミキサー車のタイヤを勝手に更生タイヤに差し替えられたり、今となっては笑い話のような経験もたくさんしましたが、特に中国では品質の良いセメントを探すのに苦労し、南

京にある小野田さんの江南小野田水泥有限公司からセメントを買わせて頂いたりしました。当時小野田さんのセメントは高品質で大変人気があり、既にたくさんのお客様を抱えておられ常に品薄状態でした。にも拘らず同じ日系企業である私たちに何とかセメントを供給して下さいと便宜を図って頂いたことを大変ありがたいと記憶しています。結局私たちの努力不足もありデリバリー面などの問題から継続的に取引するまでには至りませんでした。異国の地で協力してくれる同胞の存在を大変心強く感じたことが懐かしく思い出されます。

東京協組も生コン会社同士というある意味同胞(仲間)の集まりだと思っています。協力し合い助け合って、皆にとってより良い事業環境を作り出していくため、お役に立ちたいと思っています。初めて中国に渡った時と同様、生コンについてもこれから勉強することばかりですが、一日も早く当組合の事業に貢献できるよう精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(関東支部コンクリート工業 常務取締役)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)		
	5月(実績)	6月(想定)	5月(実績)	前年比	
大型	203,806 m ³	128.2%	220,000 m ³	108.5%	
小型	26,146 m ³	118.5%	30,000 m ³	98.2%	
計	229,951 m ³	119.8%	250,000 m ³	107.1%	
			引合	373,037 m ³	156.5%
			成約	334,062 m ³	163.0%
			契残	6,057,146 m ³	164.3%

